

2011

# はしかけニューズレター

5-6月

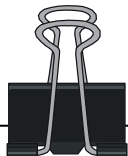
2011年度 第1号 通巻99号

2011年(平成23年)4月28日 発行

編集・発行：滋賀県立琵琶湖博物館 交流センター 2010年度はしかけ担当学芸員 老・大塚・加藤

住所：〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091 電話：077-568-4811 ファックス：077-568-4850

電子メール：hashi-adm@lbm.go.jp 琵琶湖博物館ホームページ：http://www.lbm.go.jp



## ～ 目 次 ～

### 1. お知らせ

- (1) 「あさ、ひる、ばん 博物館を楽しもう！」のご案内
- (2) はしかけグループの活動に初めて参加する場合
- (3) はしかけグループ担当者へのお願い
- (4) はしかけ活動中に事故にあった時は

会員数 ……295人  
 グループ数 …… 15 グループ  
 (2011年4月28日現在)

### 2. はしかけグループの活動報告(3-4月)と予定(5-6月)

- ①うおの会 ②淡海湧き水の会 ③近江はたおり探検隊
- ④近江昔くらし倶楽部 ⑤温故写真 ⑥からすま通信局
- ⑦湖(こ)をつなぐ会 ⑧ザ! ディスカバはしかけ ⑨里山の会
- ⑩植物観察の会 ⑪たんさいぼうの会 ⑫田んぼの生き物調査グループ
- ⑬びわたん ⑭ほねほねくらぶ ⑮緑のくすり箱 ●生活実験工房からのお知らせ

※今年度から、グループの掲載順を五十音順に変更しました。

### 3. 新連載! 「博物館のひとびと」 by からすま通信局

### 4. 編集後記

## 1. お知らせ

### (1)「あさ、ひる、ばん 博物館を楽しもう！」のご案内

びわ湖の日制定30周年、琵琶湖博物館開館15周年、はしかけ制度成立10周年を記念して、人々の暮らしと自然とのつながりを感じる時間を多くの方にもってもらおうと、朝から晩まで博物館を開館し、「あさ、ひる、ばん 博物館を楽しもう！」を開催します。

特に、はしかけグループの方々に協力いただき、はしかけグループの活動を来館者の方々に紹介するイベント「はしかけオープンハウス」を企画しました。

以下、イベントの概要です。詳しい案内は、はしかけグループのメーリングリスト等を利用し、配信していきます。この機会にぜひ、はしかけグループへの参加をお願いします。

日時：7/1(金)～3(日) 9:30～21:00

場所：琵琶湖博物館

イベント内容：イブニングコンサート、水族館の夜間展示、夜の昆虫観察会、星空観察会、水族バックヤード探検、森の音楽ワークショップ、琵琶湖の立体模型づくり、FMサテライト放送、はしかけオープンハウスなど

参加費：無料(展示観覧も無料です。)

駐車料金：博物館を観覧された方は無料です。

その他：無料シャトルバスが夕方から運行されます。

JR草津駅西口～琵琶湖博物館

(7/1) 17:00～22:00

(7/2, 3) 16:00～22:00

### (2)はしかけグループの活動に初めて参加する場合

ニューズレター発行後、活動日・活動場所が変更になる場合があります。グループの活動に初めて参加する時は、事前に、はしかけグループ担当者に、活動日・活動場所などの確認をお願いします。

### (3)はしかけグループ担当者へのお願い

ニューズレター発行後、活動日、活動場所などを変更した場合は、各グループのメーリングリストを通じて会員に周知をお願いします。同時に、はしかけ担当学芸員(老)まで、変更内容をお知らせください。

### (4)はしかけ活動中に事故にあった場合

ここ数ヶ月で3度、はしかけ活動中に会員が事故にあうことが起きました。はしかけ会員全員が加入しているボランティア保険では、活動中に転んで骨折した場合などに通院費などが対象になります。活動中に事故にあった場合は速やかに、社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会(TEL 077-567-3920 FAX 077-567-3923)に、連絡をお願いします。ボランティア保険についてより詳しく知りたい方は、事務室に保険案内を置いています。はしかけ担当学芸員(老)までお尋ね下さい。

## 2. はしかけグループの活動報告(3-4月)と予定(5-6月)



### ①うおの会

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 117名】

グループ担当者: うおの会事務局 E-mail: uonokai@ibm.go.jp  
松田征也 E-mail: matsuda@lbm.go.jp

【お知らせ】うおの会の**会員登録更新**および**うおの会備品借用更新の申請書**が、まだ**未提出**の方がおられます。**更新希望される方は至急手続き**をお願いします。登録・更新用紙はホームページ各種申請書欄、または [uonokai@lbm.go.jp](mailto:uonokai@lbm.go.jp) にご連絡ください。

定例調査などの会員への連絡は、電子メールのみとしています。連絡を希望される方は、受信を希望されるアドレスから、件名を「**連絡希望**」と明記して、本文に**お名前のみ**入力の上、[uonokai@live.jp](mailto:uonokai@live.jp) までメールを送信してください。(携帯メールの場合、画像等の問題で送信できない場合があります)。4月の連絡は2010年度のメーリングリストで送信しましたが、5月からの連絡は2011年度のリストとなりますので、手続き未済の方は至急お願いします。なおこのアドレスは出欠連絡のみです。

うおの会への連絡、ご質問などは [uonokai@lbm.go.jp](mailto:uonokai@lbm.go.jp) までお願いします。

#### 【活動報告】

##### ■ 2011年2月20日(日) うおの会勉強会

場所 琵琶湖博物館セミナー室 時間 13:00~15:00

参加者 31名

内容 「淡水生節足動物(エビ類)の見分け方」 講師: 中園健治氏  
「水生植物の見分け方」 講師: 高田昌彦氏

1月に引き続き、定例会は室内での勉強会となりました。生き物を見分けるには耳学問、目学問も大切ですが、実物を触り、五感すべてを通して学ぶに越したことはありません。寒いこの時期、姿を変えたり生息場所を変えたりしているものが多くあります。その点講師の方々には寒い中、一般には暖かい季節に見られる生体標本集めと写真撮影のため、多大のご苦勞をおかけしたこと、深く感謝致します。

似ていても違う種、違う種のように見えても同じ種、なかなか奥が深いです。新たな興味もわいてきました。(村上靖昭)

##### ■ 2011年3月13日(日) 運営会議

場所 琵琶湖博物館 時間 13:00~

参加者 8名

議題 1) 2010年度(2011. 3. 27)総会議案について

2) 定例調査の進め方について

3) 外来魚駆除に対する滋賀県の対応について

4) 事務局の役割について

5) データ入力とその集積について

6) その他連絡事項

上記各議題について話し合われました。

■ 2011年3月27日(日) 第76回定例調査 県南湖東岸生き物再生事業への協力

場所 南湖東岸周辺調査 時間 10:00~12:00

参加者 18名

例年であれば、あちこちでフナ類の産卵目撃情報が聞かれる頃です。しかし、今年の冬は殊のほか寒く、3月末の今回の調査でも、産卵はおろか、魚影を確認できたのも浜街道より山手側の一部の地点だけでした。魚たちもまだどこかに隠れて縮こまっているのでしょうか。(村上靖昭)

■ 2011年3月27日(日) 2010年度総会

場所 琵琶湖博物館会議室 時間 13:30~15:30

参加者 25名

議題 1) 2010年度活動総括

2) 2011年度活動方針

3) 2011年度役員および顧問の承認

4) 外来魚駆除に対する滋賀県の対応に対し、滋賀県知事に要望書の提出

5) その他連絡事項

上記議題について協議し、承認されました。また、調査活動を円滑・的確に実施するための申し合わせがありました。外来魚駆除に対する滋賀県の対応は、これまで滋賀県が実施してきた「外来魚駆除釣り大会」の名称をバス釣り愛好者やその業界団体からの要請によって、今年度は「外来魚駆除」の文言を取り除いた「釣り大会」として実施しようとしています。うおの会ではこれまでの活動を通して外来魚がもたらす危険性を強く認識し、様々な外来魚駆除活動に協賛・協力してきました。この名称変更は参加者のみならず、一般市民の「外来魚駆除」に対する思いを裏切ることにもなり、是非名称を元に戻すよう、総会の決議をもって知事に要望書を提出することとしました。総会后、県秘書室を通じて要望書を知事に提出しました。

■ 2011年4月3日(日) 運営会議

場所 琵琶湖博物館会議室 時間 13:00~

参加者 10名

議題 1) 調査内容・方法、データ入力・管理について

2) 2011年度役割分担、道具等の管理について

3) 上級調査員の認定

上記議題について協議されました。

■ 2011年4月17日(日) 第77回定例調査

場所 彦根市南部地域周辺 時間 10:00~14:00

参加者 25名

2011年4月17日桜満開で晴天の中、第77回定例調査が彦根市南部地域で、参加者25名8班に分かれて行われました。今回は、うおの会1次調査ポイントのその後の追っかけ調査と空白地域の調査とテストで、調査項目に水温、気温、調査地点の写真をつけ加えての調査となりました。

湖東平野の湖岸近くの為各班とも泥に悩まされながらも、13種類のお魚の顔とナマズのタマゴ?コイ、ニゴイの産卵行動も確認されました。調査地も各班3~5か所と多くの地点の調査会となりました。(田中治男)

【今後の活動予定】

定例調査への参加は、うおの会会員登録および参加の事前申し込みが必要です。

定例調査に参加するときは、はしかけの名札を着用してください。

定例調査に参加するにあたっては、水に入れる装備で、採集用具などを用意してください。

2011年度活動予定

2011年5月15日(日) 第78回定例調査

場所 南湖東岸周辺

集合 琵琶湖博物館一般駐車場 10:00~

2011年6月19日(日) 第79回定例調査

場所 高島市今津町周辺

集合 滋賀県高島総合庁舎駐車場 10:00~



## ②淡海湧き水の会

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 0名】

グループ担当者: 芳賀裕樹 E-mail: haga@lbn.go.jp

### 【活動報告】

- 3月27日に有志が集まり、淡海湧き水の会を結成することになりました。その時に決めたことは、
- ・本会は、琵琶湖とその周りの湧き水に興味のある人の集まりとする。
  - ・水質調査や、名水探訪、湧き水と生活のかかわりなど、さまざまな角度から湧き水を調べ、活動報告会を行って、知識を深める。今年度は四季毎に調査を兼ねた、名水探訪をおこなう。
  - ・結成当初の2011年度は助走期間として、どんなことが面白いかを探る時期とする。
- 本会の担当学芸員は、芳賀裕樹さんです。

### 【活動予定】

第一回の春のサンプリングを5月22日(日)におこないます。興味のある方は、湖西の高島市白鬚神社に11:00にお集まりください。地下水の御手洗水と、前の琵琶湖の水を簡易検査で調べます。12:00-13:00は横のレストランでランチを食べながら、次回の夏サンプリング場所などを話し合います。軽装でお越しください。雨でも屋根がありますので決行します。

今回から新たに参加したいという方は、上記、芳賀学芸員のメールアドレスまで予めご一報ください。



## ③近江はたおり探検隊

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 39名】

グループ担当者: 中藤容子 E-mail: nakaty@lbn.go.jp  
辻川智代

### 【活動報告】

#### ■織姫の会

\*2月23日(水)(参加者:10名)

綿繰り、カーダー、糸紡ぎなど。

\*3月20日(日)(参加者:10名)

梅の木を持ってきていただいたので、次回染められるようにチップにしました。途中までは地道に切っていましたが、後半は機械を導入。あっという間にチップにできました。

\*3月30日(水)、(参加者:13名)

前回チップにした梅で染色をしました。木が細かくなっていたので、いい色がでていました。赤っぽい茶色です。でも、木は2回煮だすと色がなくなりますね。勉強になりました。

染めあがりにはミョウバンで媒染したので、明るい茶色に染まりました。

\*4月13日(水)(参加者:6名)

今日はワタクリ、糸紡ぎなど。久しぶりに探検隊の大工係、佐藤さんが道具の点検に来てくれました。綿繰機もせっかく作ってもらったのに、こわしてしまって... 扱いが荒いので、いつもご迷惑をかけています。ごめんなさ~い。



### 【活動予定】

#### ■織姫の会

\*4月30日(土)、5月14日(土)、25日(水)、6月4日(土)、22日(水)

#### ■はたおり見学会

\*5月11日(水) 米原市甲津原でおばあちゃんに苧績みを習う  
参加される方はご連絡ください。

#### ■今後の予定(日程未定)

- 6月 紺喜さんで藍染め、苧麻の苧引き
- 7月 藍の生葉染め
- 8月 (休み)
- 9月 紅花染め

見学会も増やそうと思いますので、やりたいことがあったら、どしどしご提案ください。



## ④近江昔暮らし倶楽部

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 35名】

グループ担当者: 中藤容子 E-mail: nakaty@lbn.go.jp  
野間孝男

「しが衣食住博 in 琵琶博」の最後のイベント「食事(くいじ)博」が、4月7日に終了しました。大津市葛川の古民家へも引っ越し、新しい暮らしの体制を整えつつあります。3月は、近江スローライフの会をともに立ち上げた同志の死、東日本大震災とまさに激震が走り、4月は、新しいことをやろうという意欲がまったく湧きませんでした。先日、博物館の田んぼの苗代づくりを行い、綿や雑穀の種まきの準備を始めるうちに、ようやく自分の今年の種も準備しなくてはという気になってきました。

今年度は原点に立ち戻り、はしかけ活動の基本として、工房の田んぼ行事や近江はたおり探検隊の織姫の会に参加し、みなさんの声を受けながら活動しようと思っています。そして、しが衣食住博のふりかえりとまとめを、みなさんで行う機会をつくれたらと思っています。(Sさんに指南いただいたヨシ笛づくり&演奏会も、進めていきたいです。音楽って大事ですよ。)

7月1~3日(金~日)、「あさ、ひる、ばん! 博物館を楽しもう!」と題して、博物館の夜間開館(21時まで)を行い、はしかけ10周年記念事業「はしかけオープンハウス」を行うことになりました。期間中、常設展示、富江家の暮らしを学んで、屋外展示・生活実験工房での活動を紹介する企画を実施しようと考えています。ご参加、ご協力いただけたらうれしいです。

### 【活動報告】

#### ■工房を楽しもう!

□<食>作ってみよう・滋賀の味(第10回): 滋賀の食事文化研究会・協力

\* 3月19日(土) (参加者17名) アメノイオご飯10時~ 生活実験工房で、二年間の「作ってみよう・滋賀の味」を振り返る会として

#### ■工房の田んぼ行事(+旬の味をわかちあう会)

\* 4月16日(土) (参加者18名(内子ども5名)) 苗代づくり(シシクワズ・羽二重餅・赤米)、綿のポット苗の種まき

田んぼ行事の終わったあと、かまどご飯をき、畑の大根の菜の花を摘んで、旬の味をわかちあいました。今年度はこうした活動を地道に行いたいと思います。

### 【活動予定】

#### ■工房田んぼの作業・行事(生活実験工房主催): 巻末「工房からのお知らせ」をごらんください。

お問い合わせ等は工房担当、裕さん(hazama@lbn.go.jp)へお願いいたします。

#### ■工房を楽しもう!

\* 5月17日(火)10時~15時 茶つみ・製茶、雑穀の種まき、民具のクリーニング(生活実験工房にて)

□<衣><詳細は「近江はたおり探検隊」の欄をごらんください。>

ギャラリー展示「温故知新・近江の糸と織り」でご縁ができた京都の機大工さんが、綿繰り機を復元製作されたとのこと。6月にもみんなで伺おうと予定しています。

□<食>旬の味をわかちあう会(工房の田んぼ行事 連動企画)

\* 5月15日(日)10時~ 田植え作業のあと、屋外展示の季節の旬をみんなでわかちあいましょう。(生活実験工房にて)

□<住>住まいの小学校: 木考塾との共同例会 <http://sumainosyogakkou.shiga-saku.net/>

#### ■生活実験工房での連携授業の協力

\* 5月26日(木) 草津養護学校(中学部)が生活実験工房にて、昔くらし体験を行います。一緒に体験を希望される方、ご連絡ください。

#### ◆古民家Z再生プロジェクト(NPO 子どもネットワークセンター天気村)

湖西の葛川細川にある鯖街道の旅籠だった「古民家 Zutto~ずっと~」の再生や、「暮らし遺産」の発見・体験を行う活動を応援しています。

\* 5月4・5日(水・木)、古民家の敷地内で、ログハウス作りを行います。

\* 5月14日(土)、5月29日(日)、6月19日(日)10時～15時、古民家 Zutto にて親子での体験を開催します。

※問い合わせ先:子どもネットワークセンター天気村 TEL.077-564-7868

◆つながり広場 2011 in 安土文芸の郷(NPO 近江八幡市中間支援センター)

\* 5月22日(日) 安土文芸の郷で、さまざまな地域団体の交流イベントが行われ、映画「幸せの経済学」も上映することになりました。応援しながら、参加できたらと考えています。

◆仰木里山暮らしの木工市

\* 5月29日(日) Wood Gallery 別荘工房(大津市仰木7丁目1-10)にて

里山の工房で、木材や木工品、そして職人さんに触れ合える貴重な機会。去年から始まり、一周年になります。

※問い合わせ先:暮らしの木工市実行委員会 電話 077-525-4097(端材工房内)

#### 【ブログのご案内】

近江昔くらし倶楽部などの活動予定は、「近江昔くらし倶楽部」ブログでお知らせしています。このニューズレターもアップしています。どうぞごらんください。 <http://lbmmukashi.shiga-saku.net/>



## ⑤温故写真

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 6名】

グループ担当者:秋山廣光 E-mail: akiyama@lbm.go.jp

#### 【活動報告】

2月20日の撮影会は7名の参加でした。湖岸の野鳥撮影が目的でしたが、鳥とのイヤーナ距離を縮めることができず、成果は今ひとつでした。3月19日の勉強会への参加者は6名でした。昨年12月より行われている一連のギャラリー展示について、これまで記録した写真を液晶プロジェクターで紹介しました。急な要求にお寄せ戴いた画像なども紹介しました。動物写真はなかなか展示に使えるものはありません。ご協力ありがとうございました。

4月16日に長浜曳き山祭りの撮影会を企画しましたが、私を初め会員さんの多くの都合がつかず、結局2名の参加でした。次回撮影会の予定が決まりましたらメールでご連絡します。

#### 【活動予定】

当初から撮影ジャンルごとの撮影会を提案していますが、なかなか実現できずにいます。次回の予定はまだ決められていませんが、暖かい季節になり花や虫も活動を開始しているので、春を探しに出かけるのがよいだろうと考えています。ところで、大橋宇三郎氏の写真パネルを伊吹山資料館に展示することになりました。期間は、4月23日から6月5日です。琵琶湖博物館で制作したパネルを70枚あまりを貸し出しています。会場の関係から、すべてを一堂に展示できませんので、期間中に入れ替えをする予定です。場所が少し遠いですが、時間がとれましたら、お出かけ下さい。次回撮影会の予定が決まりましたらメールでご連絡します。

4月26日の写真学会西部支部例会では、画質が与える写真表現への影響についての講演と1,000万画素のカメラ付き携帯電話の画質についての講演がありました。デジタルカメラで撮るのなら携帯電話の画質で十分で、もはやスナップにはデジカメを持ち歩かないという話でした。いやはや、カメラっていったい何なんでしょう。



## ⑥からすま通信局

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 2名】

グループ担当者:芳賀裕樹 E-mail: haga@lbm.go.jp

#### 【活動報告】

「博物館のひとびと」引き続き連載中です。  
ぜひお読み頂き、ご感想をお聞かせ下さい。

#### 【活動予定】

「博物館のひとびと」インタビューなど。  
随時博物館にて活動していますので、参加希望の方はご連絡ください。



## ⑦湖(こ)をつなぐ会

【2011年3-4月の活動会員数(のべ)5名】

グループ担当者:老文字 E-mail: fumiko.oi@lbn.go.jp  
中山法子

### 【活動報告】

4月10日アトリウムで紙芝居を2回上演しました。たくさん子どもが集まって、「びわこの旅」を楽しんでくれました。「生きている琵琶湖」の合唱も、紙芝居が始まる前に繰り返し部分を重点的に歌って聞いてもらっていて、終わってから歌うと結構一緒に歌ってくれるので楽しく過ごすことができました。

### 【活動予定】

6月12日(日) 紙芝居上演 13:30 実習室1 集合  
14:30からアトリウムで紙芝居上演・10周年事業参加準備  
7月2日(土) はしかけ10周年記念事業参加 12:00 集合



## ⑧ザ! ディスカバはしかけ

【2011年3-4月の活動会員数(のべ)2名】

グループ担当者: 芦谷美奈子 E-mail: ashiya@lbn.go.jp  
藤岡千裕  
山田陽子

### 【活動報告】

活動内容	完成・実施日	なにを	どうした
イベント	2011/3/7 (月)	第1回 ザ! ディスカバはしかけ 総会	2010年度の振りかえりと、2011年度の計画を立てる

### 【今後の活動予定】

新空間で展示中の「ホテルの学校」の荒井さんと一緒に行なうイベントのお知らせです。

日付	時間	イベント名	場所	定員
2011年5月2日(火)	①11:00~11:30 ②13:00~13:30	紙芝居「ゲンタのたんじょうものがたり」	新空間	30名/回

上記のイベントは、参加費無料・申込方法は当日です。新空間にて受付を行います。また、就学前のお子さまは保護者同伴でお願いいたします。紙芝居では、蛍の幼虫のゲンタが大人になるまでの冒険を描いた物語の上演と、他にホテルのクイズや折り紙づくりなどもあります♪

折り紙づくりなど、お手伝いしていただける方や遊びに来たい方など、お気軽にご参加ください(^v^)/

ディスカバリールームでこんな楽しいことしたい♪などアイデア・提案があれば、お気軽にスタッフまでお声をかけてください。メールも大歓迎ですヨ!お待ちしております(^v^)/



## ⑨里山の会

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 35名】

グループ担当者: 寺尾尚純 E-mail: terao@lbn.go.jp  
terao\_naozumi@pref.shiga.lg.jp

### 【活動報告】

#### 2月27日(日) はしかけ活動発表会 参加3名

琵琶湖博物館のアトリウムで、パネルとスライドを使って里山の会の活動を紹介しました。参加者は、博物館からは寺尾さんと楠岡さん、里山の会からは吉井さん、金山さん、山川栄樹でした(注: 柳原さん、山川侑夏はザ・ディスカバはしかけ、畠山さん、後長さんは湖をつなぐ会のイベントのサポートを行っていました)。里山体験教室のサポート、里山保全活動のほか、オカリナ演奏、ソバ打ちの様子を撮影した写真を掲載したポスター、大しのはら里山通信(2010年春・夏・秋・冬)をパネルに掲示するとともに、花炭、焼き物、和紙の展示をおこないました。

初老の男性、ベビーカーを押している若いお母さんから、入会の問合せがありました。また、昨年、親子で里山体験教室に参加されたはしかけの方も来場されました。現在の会員数は18名ですが、来年度はやや増えそうな感じです。

これに先立って、午前10時から11時30分まで、琵琶湖博物館セミナー室ではしかけ登録講座が行われました。参加者は30人程度、中年以上の方が中心だったようですが、幼稚園児、小学生、大学生の姿もちらほら見られました。老学芸員の全体説明のあと、14グループが順に活動内容を紹介します。里山の会は、山川がPowerPointを使って説明しました。具体的には、現在の会員数と活動概要を述べたあと、里山体験教室、マキノでの里山観察会、毎月おこなっている独自の活動の様子を、ここ2~3年の間に撮影した写真を使って説明しました。パソコン全盛時代であるにもかかわらず、PowerPointを使って活動の紹介をしたのが里山の会だけだったのは、少し不思議に感じました。(山川)

#### 3月21日(月・祝) 里山の会総会・草木染め・原木キノコ栽培の植菌 参加12名

本日は、参加者12名で里山の会総会、タマネギ皮染色(日本手ぬぐい)、ヒタラケ/ナメコ菌原木づくり(工房横の林内で育種)を行いました。また、前田さん、柳原さん作の味噌汁、桑垣さん手作りのヤマモモケーキ、寺尾さんによるドリップコーヒーサービス等々、本日は内容の濃い活動ができました。

総会議事録は山川さんから、タマネギ染色については柳原さんから別途報告していただきます。来年度も、盛りだくさんの企画を予定していますので楽しく活動したいと思います。(吉井)

染め担当の柳原です。

今日はみなさま持ち寄りのタマネギ皮で 白手ぬぐいを染めました。おまめ・石・枝・硬貨などいろいろな材料を使って輪ゴムでしばり、個性的な模様ができました。

出来上がった手ぬぐいを体験教室でお披露目出来るのを 楽しみにしています。(柳原)



2011年3月11日 里山の会（琵琶湖博物館生活実験工房）

玉ねぎの皮を使った染色



ヒラタケとナメコの菌打ち



4月10日(日) 里山体験教室～春の巻～ 下見 参加 8名

4月17日(日) 里山体験教室～春の巻～ 本番 参加 12名

「里山の春をさがそう」というテーマで今年的第一回目の里山体験教室を、野洲市大篠原の里山で開催しました。

春さがしの定番となった、食べられる野草や木の芽などを求めて周辺の野・道をゆっくりとお散歩しました。収穫は、お昼に里山の会のメンバーに方々が美味しい天ぷらにしてもらい、みんなで堪能しました。

昼からは、第一回目の催しでもあり、里山の雑木を生かして、名札づくりと鍋敷きをつくりました。ただの木ぎれだけでなく、穴の空いたものや湾曲したものなど、個性豊かな名札ができあがりました。鍋敷きは、少し時間が足りなくて、完成することはちょっと難しかったようです。

最後に、里山からの眺望でびわ湖との繋がりをを感じるために、高台に登り記念撮影をしました。

(寺尾)



**【活動予定】**

5月28日 新緑観察と川遊び



**⑩植物観察の会**

**【2011年3-4月の活動会員数(のべ)0名】**

グループ担当者: 芦屋美奈子 E-mail: [ashiya@lbn.go.jp](mailto:ashiya@lbn.go.jp)

**【活動報告】**

活動は行いませんでした。

**【活動予定】**

昨年秋に上桐生で行った観察会の春の部を実施します。

日時: 5月28日(土)

観察場所: 上桐生のオランダ堰堤または、その周辺の県立公園あたり

集合時間: 午前10時(バスがこの時間に着く予定)。なお解散は午後3時頃を予定。

集合場所: 帝産バス「上桐生」バス亭。草津駅前から駅東口前、帝産バス、9時30分発に載ると便利です。

持ち物: 弁当、水筒、筆記用具、雨具などとハイキングができる用意。

その他: 雨天の場合は中止します。 \* 近くに「若人の広場」というキャンプ場があり、そこに有料の駐車場があります。

申込: 琵琶湖博物館、芦谷美奈子まで、メール、ファックス、電話などで。なお、中止の場合にはこちらからメール、電話を致しますので、必ず申し込みをしてください。



## ⑪たんさいぼうの会

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 10名】

グループ担当者: 大塚泰介 E-mail: ohtsuka@lbn.go.jp

### 【活動報告】

3月6日(日)に、琵琶湖博物館研究交流室で第1回「たんさいぼうの会 10周年企画 あら、こんなところに珪藻が♪」制作委員会が開催されました。この企画は、影の会長の通勤経路をたどりながら、そこに棲息する珪藻を調べていくというものです。今のところ、家の金魚鉢→川→小学校のプール→ため池→田んぼ→湖岸→富江家前の水路のそれぞれの場所で、会員がサンプルをとっていると動画を写し、さらにサンプルに含まれている珪藻を調べてポスターにまとめるという計画です。撮影は5月下旬から6月に行い、年内くらいには完成させて、2012年春に「集う・使う・創る 新空間」で発表することを目論んでいます。

4月3日(日)に、記念すべき第30回総会が行われました。10名が参加しました。前述の「あら、こんなところに珪藻が♪」と、甲賀地域のミズゴケ湿地調査の2つを、今年のメインの活動に据えることを確認しました。残念だったのは、桜の開花が遅れ、毎年4月総会で恒例となっていた花見ができなかったことです。前回の大雪といい、今回の桜開花の遅れといい、今年の総会は気象条件に祟られています。そこで急遽、南草津の割烹で小宴会をすることにしました。

昨年12月5日に、大津市田上里で行われた珪藻調査の様子が、もうすぐ文部科学省のインターネット動画配信サイト「エル・ネット」の番組「社研の窓」で配信される予定です。当初、2月公開の予定だったのが大幅に遅れ、この時期にまでずれ込んでしまいました。このニュースレターがお手元に届く頃には、今度こそ配信されていると思うのですが…。

### 【活動予定】

5月22日(日)に、甲賀地域のミズゴケ湿地調査を行います。全部で10か所ほどを、3班に分けて回る予定です。

6月19日(日)に琵琶湖博物館で行われる「第2回 西日本原生生物コロキウム」で、会長がこれまでの研究成果のまとめを、影の会長がたんさいぼうの会の活動紹介を、それぞれ発表する予定です。

7月2日(土)の「はしかけオープンハウス」に、たんさいぼうの会も出品します。これまでに行ってきた活動の紹介とともに、顕微鏡写真撮影の実演、「珪藻でパラパラマンガ」などのワークショップを行う予定です。

7月3日(日) 9:30~12:00に、研究交流室で第31回総会を行います。



## ⑫田んぼの生きもの調査グループ

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 8名】

グループ担当者: 楠岡泰 E-mail: kusuoka@lbn.go.jp

M. J. グライガー

代掻きもはじまり、いよいよ田んぼの生き物調査のシーズン到来です。

### 【活動報告】

4月9日(土)2010年度報告会および2011年度調査検討会(琵琶湖博物館実習室1:参加者8名)

新入会員向けのエビ類の同定研修のあと、前田さんから2010年度調査の結果発表がありました。長浜の冬季調査では雪の深いところほど土壌の水分含有量が少ないなど興味深い結果が得られました。2011年度調査について話し合ったところ、今年度は瀬田周辺のアジアカブトエビの分布と長浜調査の継続をすることに決定しました。

### 【活動予定】

#### 瀬田アジアカブトエビ調査

日時: 5月28日(土) 10:00

集合場所: 瀬田のアル・プラザ駐車場 5B (JR 瀬田駅から5分程度)

内容: 瀬田および石山周辺のアジアおよびアメリカカブトエビの分布調査

#### 第1回長浜エビ類分布調査

日時: 6月5日(日) 10:00

集合場所: JR 長浜駅西口ロータリー

内容: 冬調査した水田のエビ類出現状況を調査する

#### 第2回長浜エビ類分布調査

日時:6月11日(土)10:00

集合場所:JR長浜駅西口ロータリー

内容:冬調査した水田のエビ類出現状況を調査する



## ⑬びわたん

【2011年3-4月の活動会員数(のべ)29名】

グループ担当者:大依久人 E-mail: ohyori@lbm.go.jp

年度替わりのバタバタもそろそろ落ち着いた頃かと思いますが、皆さん元気でお過ごしですか? 学校連携の藤橋先生がびわたん副担当として加わっていただきました。今後ともよろしくお願いします。

2月~3月の活動について、以下に各担当者より報告してもらいます。

### 【活動報告】

#### 2月12日(土)26日(土) わくわく探検隊「水晶のレプリカをつくろう」

2月のプログラムは、「おゆまる」をシリコンの型枠に詰めて水晶のレプリカを作る「水晶のレプリカをつくろう」でした。この「おゆまる」という素材は、80℃のお湯で柔らかくなり形を色々に作ることでできる合成ゴムです。びわたんではおなじみの素材で、これまで手軽さや透明感を活かして「プランクトンの模型をつくろう」や、「化石のレプリカを作ろう」「土壌動物の模型づくり」「琵琶湖の模型を作ろう」など数々のプログラムで使用しています。今回のプログラムでは、型枠を事前にお鍋で温めておくなど、ワークショップで「おゆまる」の使う工夫がさらに加えられていて、久々にわくわく探検隊に参加した私は、びわたんメンバーのプログラムへのあくなき探求にまた驚かされました。ちなみにこの「おゆまる」はミュージアムショップでも販売してます~♪(と参加者の方にも伝えております(笑))

当日は「水晶」と「レプリカ作り」という魅力的な単語に惹かれてか、受付開始前から参加希望者が列を作る大盛況で、急遽第2週の日も、4週の日も2回開催しました。進行役の大依先生と里口学芸員は特に大変な一日だったと思いますが、希望するほとんどの方に参加していただくことができ本当に良かったです。メンバーのみなさま長丁場お疲れさまでした。

プログラムは大依先生が質問をして、それに里口学芸員が答えるという形で進んでいきました。簡単な質問から始まる学芸員さんが答えは、ただ答えがわかるというものではなく、理解が深まったり、広がったり、参加者はぐいぐいと学芸員さんの世界に引き込まれます。これが博物館の一番楽しい所です。自分で体験して、知らなかった世界を知っていく事は、子どもも大人も楽しく、生きていく中でずっと必要な事です。そのことの面白さや奥深さを伝える一番の場所が博物館であって欲しいと思っています。型枠からレプリカを取り出した時の参加者の嬉しそうな顔に、思わずこちらも笑顔になりました。(肥山 陽子)

#### 3月12日(土)26日(土) わくわく探検隊「くるくるキラキラ☆偏光スコープ」

先月に引き続き、地学博士の里口先生にご協力を頂き、地学系のプログラムを実施しました。今回のプログラムでは、鉱物や岩石の研究に利用される偏光顕微鏡を作製しました...と言う訳にはいかないのですが、偏光顕微鏡と同様に偏光シート(邪魔な光を除去して、光の向きを整えるためのシート)を使って偏光スコープを作製しました。

偏光スコープの仕組みはかなり複雑で、大人でも理解が難しいのですが、作り方は簡単。偏光シートの上にセロハンテープを貼り、もう一枚の偏光シートを通して観察するだけ。元々は透明なはずのセロハンテープに色が付いたように見えます。さらにもう一枚セロハンテープを重ねると、さっきとは違った色が現れます。これには子ども達のみならず大人も大喜び☆「凄い」「キレイ」といった歓声が上がりました。その後は、違う種類のテープを貼る、テープを折る、傷を付ける、伸ばす、捻る等々、一人一人が独自の工夫を凝らして、様々な偏光スコープが完成しました。子どもの持つ発想力には毎回驚かされます。完成後は発表会を行いました。恥ずかしがって見せてくれない子もいるのでは?と心配だったのですが、みんな積極的に見せてくれました。中には教会のスタンドグラスを彷彿とさせるような綺麗なものや、実在する鉱物にそっくりのものもあり、大変盛り上がりました。

偏光シートは液晶ディスプレイや、3Dテレビ、光磁気ディスク、レンズフィルター(表面反射を除去)などに利用されています。今回のプログラムをきっかけに、参加者の中から、これらの新商品を開発してくれる人が出ることを期待したいです。

(榎本 真司)

### 【活動予定】

5月14日(土) 28(土) わくわく探検隊「プラばら プランクトンのばらばらまんが」

6月11日(土) 25(土) わくわく探検隊「琵琶湖の模型をつくろう」



## ⑭ほねほねくらぶ

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 31名】

グループ担当者: 高橋啓一 E-mail:takahashi@lbn.go.jp

ようやく春めいてきました。春になるといろいろな生き物が活動をはじめます。ほねほねくらぶも、会長、副会長、広報部、作業部、外渉部、世話役と新しい体制で、動き出すことになりました。

### 【活動報告】

#### ◆3月21日(日)

久しぶりにコアメンバーが全員集合したので、ほねほねくらぶの体制と活動内容・方法について話しあいました。

新体制では、メンバーそれぞれが役割を持つことになりました。長年私たちを引っ張り、たくさんのパワーをくださった広報部長(永野麻也子さん)に代わって、新広報部長には日田くん(中学1年)と人見くん(小学6年)が任命されました。今後二人の活動報告が、はしかけニュースレターに時々お目見えすることでしょう。午後からは、ワニガメの内臓の取り出し、肩甲骨と上腕骨、寛骨と大腿骨の付き方を写真で取りました。また、新しいメンバーが見学。シカの頸椎並べを体験されました。

#### ◆3月27日(日)

ワニガメの解剖の続きをしました。四肢を外し、除肉。今後スムーズに組み立てができるよう手根骨や足根骨の並びを除肉しながら確認。写真やスケッチなどで記録を残しました。

#### ◆4月10日(土)

はしかけ10周年記念事業の企画検討をしました。ほねほねってこんなことをしているよとわかりやすく活動紹介しよう。やっぱり組み立てた骨格標本は見てほしいよね。せっかくだから、骨を触って感じてもらう。どうせならみんなで組み立てちゃおう！というんな楽しいアイデアが出ました。午後からは、7月2日に向け早速準備開始。みんなで組み立てる骨の準備をしました。そして子ども組みは、ワニガメの手足の除肉をしました。

#### ◆4月23日(土)

ワニガメの頭部とカミツキガメの解剖をしました。カミツキガメの解剖も頸椎と頭部を残すところとなりました。前回甲羅のような硬いコブのついた皮をはぎ終わった頭部の筋肉を担当したのは、今回で解剖2回目というKさん。下顎から後頭部へ伸びる筋房は太く、また幾重にも複雑に重なっていて、一度獲物を丸呑みしたら、強固な力を発揮し口をあげないことが容易に想像できます。中学生になった古株H君は頸椎外しに挑戦。頸椎の筋肉は小さな筋房がたくさんあり、骨の接合面はいくつもあり、骨の形をわかっていないとメスで骨を傷つけてしまいます。午前中集中し2個の椎骨を外しました。カミツキガメは飼育放棄されたもの。まだ幼体でしたが、口は鋭く肉を引きちぎる鋭さ、滑りがあり皮を剥ぐのは一苦労。ほねほね歴6年のH君と会長がこれにあたり、手足の除肉と内臓を外して終了しました。解剖する生き物の骨格をイメージしながら解剖・除肉をするためにも骨格図が役に立ちます。(山中)

### 【活動予定】

5月は7日(土)と22日(日)、6月は12日(日)と25日(土)です。

見学等希望の方は、高橋学芸員にお問い合わせください。



## ⑮緑のくすり箱

【2011年3-4月の活動会員数(のべ) 12名】

グループ担当者: 草加伸吾 E-mail : kusaka@lbn.go.jp

### 【活動報告】

3月19日(土)に、琵琶湖博物館研究棟2Fの交流室にあつまり、今年度の活動計画を立てました。

昨年は、10月以降全く活動ができなかったことや、イベントに偏った活動になってしまった反省点を踏まえ、今年度は本来の目的、身近な植物を日常生活に活かす研究をしよう、ということになりました。年間活動計画については、今年度第1回の活動日、5月7日(日)に、印刷したものをお渡しします。

### 【活動予定】

5月7日(土)… 植物観察会と和のアロマをつかったハンド・マッサージ

高島市「くつきの森」午前9時半～午後4時半

\* 現地までの交通手段のない方は、車に乗り合いで行きますので、連絡してください。



今年は寒い日が続いているので、去年観察して調理した「アミガサタケ」に、出合えるかどうか楽しみです。また、ハンカチの木が見ごろを迎えています。「くつきの森」では、「ハンカチの木まつり」が開かれています。

植物観察をすると同時に、朽木での獣害についての問題についても、現状を知り何か対策ができないものか、考えてみたいと思います。また、パキスタンの自然と人々の暮らしという講演もあります。

\* イベントは、7日(土)ですが、宿泊も可能です。翌日、和のアロマ・ハンド・マッサージにつかった精油のもととなった植物の観察に行きます。



## 生活実験工房からのお知らせ

※工房の田んぼ行事は、はしかけ・FRの方を対象に行っています。

連絡先: 碓(はざま)登志之 E-mail: hazama@lbm.go.jp

### 【活動予定】

5/15(日) 10:00~12:00 田植え 集合場所: 生活実験工房

6/25(土) 10:00~12:00 除草、観察会 集合場所: 生活実験工房

## 3. 新連載! 「博物館のひとびと」

by からすま通信局

「ひと」を通じて、展示だけでは分からない博物館の頭脳に迫ります。

「からすま通信局」は、「大人が遊べる博物館」をコンセプトに、博物館に関する情報発信をしていきます。

### 第2回: 老 <sup>おい ふみこ</sup> 文子さん(学芸員、専門分野: 民俗学)



学生時代は、建築学でも「保存修景計画」という分野を専攻していた。集落や民家調査を始めて間もない修士1回生の時に、古民家で偶然出会った桶風呂について研究し、その論文が第26回日本民俗学会研究奨励賞を受賞し、民俗学の世界に足を踏み入れた。現在の専攻は「民俗学」。「民家と民具からみた生活文化の研究」などをテーマに、調査、研究活動を行っている。

桶風呂とは、湖北から湖東、湖南を中心に昭和20年代頃から昭和30年代頃まで使われていた半蒸半温浴の風呂で、特に湖東の桶風呂は、頭上まですっぽり覆われた狭い桶の中で半身浴をするというユニークな浴槽である。現在C展示室の富江家で、実物を見ることができる。

老さんは桶風呂について主に、材料や製作方法・使用法の聞き取り調査、構造の図面化を行うと同時に、桶風呂の保存と活用の活動を精力的に行っている。民俗学者としては少し変わった切り口であるらしい。その理由は保存修景計画のバックグラウンドがあるからだけではない。あるひとつの信念に基づいている。

例えば桶風呂は、地域内で、日替わりで沸かしもらい湯をするという習慣があった。桶風呂からは、当時の、水や燃料、ご近所とのコミュニケーションを大切にするという、生活に対する姿勢が見えてくる。大切なのは桶風呂そのものだけを残す事ではない。作り方や使い方に潜む、私たちがかつて持っていた知恵は、これからの暮らし方を考える上でいつか必ず役に立つ。老さんはそう信じている。

だから、残していくために行動する。残せない物は正確な寸法を測って図面化する。消えてしまう前に、出来る事をする。大切なのは過去だけではなく、いかに未来に活かしていくかなのだ。(文責: 清水華子)

お読み頂きありがとうございました。

「博物館のひとびと」についてのご意見や感想を、はしかけの代表アドレス(hashi-adm@lbm.go.jp)まで、ぜひお寄せ下さい。

### 4. 編集後記

今年度の交流グループのはしかけ担当の学芸員は、主担当: 老 文子(おい ふみこ)、副担当: 大塚 泰介(おおつか たいすけ)、加藤 理(かとう おさむ)で実施することになりました。「あさ、ひる、ばん 博物館を楽しもう!」は、交流グループが中心になって実施するイベントです。ぜひ、7/1~3は、琵琶湖博物館にお越しください。(老 文子)